

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	StepUP時田通町教室		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未就学児から高校生まで幅広く受け入れを行っているので、学校や家庭などでは経験が難しい多角的な交流が出来る。周りを見る力や、周りに合わせる力等が身についてくる。また、高学年の児童は年下の児童に教えたり、譲ったり気遣う力といった社会性が身につく。	未就学児や中高生といった大枠の提供時間の区分けを行っているが、多角的な交流が出来るように小学生や中高生などの他学年や異年齢児童を同時間に受け入れている。	これまで通り多少の他学年児童の同時間受け入れは行っているが、怪我や事故が無いように場所スペースの確保や、職員研修を定期的に行い、職員の支援スキルアップも図っている。また、児童同士の玩具の貸し借りなども、職員が間に入りつつ児童同士の交流も強くしていきたい。
2	SSTに注力した集団療育を行い、その中で運動トレーニングとコミュニケーショントレーニングを提供している。運動では、変換能力、定位、識別、リズム、バランス、連結、反応といった能力を、コミュニケーションでは、認知行動、健康生活、言語コミュニケーション、人間関係社会性に関するテーマを毎日毎時間固定化しない活動プログラムを提供している。	活動プログラムが固定化されないように常勤職員を中心にみんなで相談共有しながら、児童の特性や児童の年齢に応じたプログラムを立案している。児童発達では行っていないコミュニケーショントレーニングでは、社会性の観点から個別で取り組みプリント学習や、チームで1つの事柄を進めていくグループワーク学習も取り入れ、最後にはみんなの前で発表も行っている。	その日、その時間にいる児童の特性や年齢に合った活動プログラムを職員全体で考え意見を出し合いながら相談共有し、児童同士の交流を通して社会性を得るようなトレーニングや支援を行っていく。支援の統一を図るために、こまめに職員会議や研修を行い、児童の社会性の向上に尽力する。
3	公開トレーニングを行い、保護者様や別事業所の職員の方に広く見ていただき、児童の日頃の様子や成長を感じて頂いている。公開トレーニングで第三者の方々にも事業所の取り組みの評価も頂いている。	年に1度11月に1週間の公開トレーニングを行い、地域などに開けた事業所づくりを意識している。また、児童の社会性の向上を図り、家族参加型のイベントなどを開催し家族交流の機会や家族支援にも繋げている。	年に1度の公開トレーニングは、引き続き行い、新規の方が多く入会したタイミングでも追加で行うなど、回数や開催時期についても検討していく。また、専用のアンケート表なども作成しながら第三者の方の評価も頂きながらより良い事業所を目指していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎を行っておらず、保護者様のご都合や天候不良により保護者様の送迎が困難になり、定期的な利用が難しい場合が見られる。	SST療育目集団療育をトレーニング時間に沿って行っている為、児童のサポートに付く職員が多く必要になり、送迎を行える人員不足と、送迎を想定してみるとトレーニング開始時間に間に合わない。	ガイドヘルパーなどの事業所と連携ととりつつ、送迎困難な保護者様に移動支援をご紹介お伝えしていく。また、同法人内で送迎の行い方や仕方を検討し可能な限り保護者様の負担を軽減できるように努める。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が作れていない。	保護者様が望んでいないことも要因の大きな1つではあるが、StepUPのSSTトレーニングを週に1回のみ受けに来ていただく児童が多い為、土曜日になどに地域交流をしてしまうとトレーニングが受けられなくなってしまう児童が多く出てしまう。	祝日のイベントや、近隣の地域夏祭り期間中など、地域の方と交流できる機会を少しづつ作ってきたい。
3			